

京都市イノベーションセンターの設置について

～ 産学公連携を進める新たな仕組みとして ～

京都市では、本年10月、「京都市産業科学技術振興計画」を策定し、新しい研究成果としての「知」とそれを経済活動や社会生活に役立たせる「技」が活発に交流する科学技術都市の構築に向けた取組を進めているところです。

この度、技術革新の源泉である大学等の研究成果を活用し、新たな産学公連携による事業計画の企画及び運営を行う推進体制として、「京都市イノベーションセンター」を、本日から下記のとおり設置しますのでお知らせします。

記

- 1 名称 京都市イノベーションセンター
- 2 活動拠点 京都桂新事業創出型事業施設「京大桂ベンチャープラザ（南館）」内
(京都市西京区 桂イノベーションパーク内)
- 3 体制

センター長	-----	イノベーション・コーディネータ
事務局		
京都大学大学院工学研究科 平尾一之 教授		京大桂ベンチャープラザ インキュベーション・マネージャー (財)京都高度技術研究所派遣 経営・技術専門家

京都市産業観光局商工部産学連携推進課

*その他必要に応じ、既存のネットワーク等と連携
- 4 活動内容 (1) ネットワーク形成
(2) 人材の育成
(3) 共同研究の推進
 < 1年間で10件の共同研究の組成を目標 >
*詳細は別紙のとおり

京都市産業科学技術振興計画の概要

平成18年10月、「ものづくり都市・京都」の更なる活性化を図るため、京都市スーパーテクノシティ構想（平成14年3月策定）の行動計画として、産業科学技術振興の基本的方向、重点推進施策及び推進体制を取りまとめた「京都市産業科学技術振興計画」を策定しました。

本計画は、新しい研究成果としての「知」とそれを経済活動や社会生活に役立たせる「技」が活発に交流する科学技術都市の構築を目的としています。

(別紙)

「京都市イノベーションセンター」の活動内容

平尾一之・京都市イノベーションセンター長の研究シーズをはじめ、推進プロジェクト等を核に、次世代先端科学技術分野（ナノテクノロジー分野）における幅広い人材・技術ネットワークを構築し、産学公連携による新たなイノベーションにつながる研究開発を創出・推進する。併せて、先端分析機器の活用を通じて地域の技術力強化等を図る。

(1) ネットワーク形成

センター長の研究シーズ等をもとに、人的交流を通じて幅広い人材ネットワークを構築し、イノベーションに求められている知の合流及び融合の加速化を図っていく。

(2) 人材育成

先端分析機器を地域の中小・ベンチャー企業等に開放することにより、ナノテクノロジー分野に関する技術人材を育成し、地域の技術力向上につなげる。また、極微観察技術の取得により、京都の文化財の修復（錆や劣化への対応）への活用も検討する。

(3) 共同研究

上記(1)のネットワークをもとに、イノベーション・コーディネータの支援も得ながら産学公連携による共同研究へと発展させていく。

[参考 平尾一之 京都市イノベーションセンター長 略歴]

昭和26年 大阪府生まれ
昭和54年 京都大学工学研究科博士課程修了
コロラド大学博士研究員, レンセラール工科大学博士研究員
昭和62年 京都大学工学部助教授
平成10年 京都大学大学院工学研究科教授

- * (経済産業省) 産業構造審議会産業技術分科会産学連携推進小委員会委員
- * 京都市産業科学技術振興計画(仮称)研究会委員(平成15年度)
- * (財)京都高度技術研究所研究顧問

研究分野

無機材料化学, 応用物理学, 理論化学, レーザー化学の研究に従事し, フォトニクスガラスの開発, 光機能無機材料の機能発現の手法などを研究

京都市イノベーションセンター

京都市イノベーションセンター長
平尾 一之・京都大学工学研究科教授

次世代先端科学技術分野におけるイノベーションの創出
～ 研究から市場へ 知の合流・融合の加速化 産学連携の柔軟化～

